3　水害・土砂災害の被害と対応

台風等で被害が予想される場合は勤務外の消防職員や消防団員を招集し、直ちに警戒体制に入り水防活動を実施します。

平成 28 年中に発生した台風 9 号による東京地方への被害及び当庁の活動について紹介します。

3－1　水害・土砂災害

＜台風の概要及び被害状況＞

平成 28 年 8 月 19 日、15 時にマリアナ諸島で発生した台風 9 号は、22 日 2 時には八丈島の西南西約 40 キロで強い台風となりました。22 日 4 時 59 分に、大雨、洪水警報が東京 23 区と多摩全域で発令され、多くの観測点で 1 時間に 30 ミリ以上の激しい雨を降らせ、青梅市では 1 時間に 107.5 ミリを記録、統計開始以来最大の 1 時間降水量を記録しました。

また沿岸部を中心に非常に強い風が吹き、三宅島では 22 日 10 時 43 分に西の風 30.4m/s の猛烈な風を観測しました。この台風 9 号の影響により各地で床上浸水等の水災が発生し、東村山市では、走行中の電車の最後部に崩れてきた土砂が接触して脱線する事故が発生しました。

写真 18　猛烈な雨による空堀川（東村山市）の越水

写真 19　がけ崩れによる電車の脱線

第 1 表　台風 9 号による被害状況

建物被害（件）					施設被害（件）				人的被害（人）		
床上浸水	床下浸水	地下街等浸水	半壊	一部損壊	道路冠水	道路損壊	がけ崩れ	越水	傷者	誘導人員	救助人員
29	109	11	1	13	59	1	17	6	1	16	2

＜当庁の対応＞

台風 9 号の接近に伴い当庁は水防第二非常配備態勢を発令、水災への態勢を強化し、浸水危険のある建物等への水防工法、浸水した家屋の排水活動等の水防活動を実施しました。男性 1 名が河川敷内に取り残され、消防隊が介添えにより救出しました。出場人員は消防団員を含め延べ 1,385 名、出場車両は延べ 206 台にのぼり、活動の内訳は、水防工法が最も多く 57 件、次いで排水活動が 43 件、警戒区域の設定が 13 件でした。

写真 20　排水活動

写真 21　河川敷での救助活動

写真 22　浸水防止活動

写真 23　警戒区域の設定

＜時系列＞

日　時	内　　容
8 月 21 日　22:00	水防態勢発令（東京消防庁管下全域）
8 月 22 日　6:00	水防第 1 非常配備態勢発令（東京消防庁管下全域）
8:00	水防第 2 非常配備態勢発令（東京消防庁管下全域）
19:30	水防第 2 非常配備態勢解除（東京消防庁管下全域）
21:20	水防第 1 非常配備態勢解除（東京消防庁管下全域）
8 月 23 日　6:00	水防態勢解除（東京消防庁管下全域）